

HOYOG

教区新報



98 RENNYO-SHONIN
BIG FESTA 500

1998. 7・8. 117号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078) 341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

発行所



法要の縁儀参進中の豊原総長

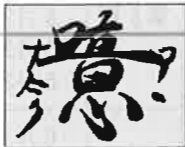
前期に一万二千人参拝 蓮如上人遠忌法要 後期は九千人予定

蓮如上人五百回遠忌法要が三月十四日(土)から厳修されています。総合テーマ「イノベーション(変革)」キャンペーンテーマ「環境・家族」を中心に、十一月十日

三日まで十期百日間にわたる長期の法要です。兵庫教区からは前期に一万二千五百二十一名が参拝されました。第一期には三月十五日の神明組第一班をはじめに九日間に十五組から五九三九名が参拝されました。連日の法要は満堂でイス席には色とりどりのリボン、スカーフで組名を示している組もありました。後の方は立って参拝される方がおられるくらいの盛況でありました。第二期には三日間に三組から四六一名が参拝されました。春休みということもあって家族連れの参拝者が団体参拝に混じって見られました。第三期には五日間に七組二団体の二二七四名が参拝され

ました。今までにない規模と企画で盛大に営まれている法要は御影堂の三千六百席のイスが見えないくらいであります。第四期には四日間に五組と別院から一〇四名の参拝がありました。午前十時三十分からの法要、縁儀、ご親教に胸を踊らせて念仏の音が響いておりました。組によっては午後北境内地、イノベーションランドの記念行事に参加されたり書院・飛雲閣の参観もされていきましたが、日程の都合

で早々とバスに乗り込んで目的地に向かっていたいけれども、少々寂しく感じられる法要とも思われました。第五期は五日間に五組から一九七七名が参拝されました。団体参拝のほかに教化団体ごとに九日間に法要記念の全国大会も開催され海外からも千八百人が参拝されました。第六期には三日間に五組から六六六名が参拝され、兵庫教区からは前期には、二九日間に一二五二一名が参拝されたことになりました。振り返ってみれば兵庫教区は阪神淡路大震災という大きな試練を乗り越えて、多くの方が法要に参拝されましたが、復興も半ばという時点の参拝に一人ひとりの想いも味わい深いところがあったことでしょう。蓮如上人の教えを一人ひとりが如何に頂くかは難しい面もありますが、「御文章」をはじめ多くの著書や「お名号」を流布された意義を改めて聞き学ぶことが、基幹運動の推進を中心とした兵庫教区の課題であり、神戸別院、教化センターの活性化への方向性を示しているものと感じられます。(二頁に各組団参拝者数)



組内の六月例会の席での出来事である。書類を見るために眼鏡をはずしていた。用がすんだので眼鏡を掛けようとする。と、左のつるが力なく広がって外れた。つるの根元を見ると、ねじが抜け落ちていた。◆困ったことになったなあ。あたりを見まわす。縫い針ほどの太さで、長さ三ミリぐらいの小さなねじが机の上に転がっていた。苦労して取りつけ、やっと元どおりになった。◆眼鏡をよく見ると二本のねじで組み立てられている。いつの間にかゆるんで抜け落ちたのだろうか。車の運転中だったらとぞっとする。◆目に最も近いところにあるのが眼鏡。毎日見ているはずである。はずであるが見えていない。なんとしたことか。他人さまのことは些細なことでも気にするのに、自分のことは見えないとは。◆源信和尚は、「如来の攝取の光明の中につつまれておられるに、煩惱に眼が覆われて見ることができない。」と述べられている。本当に本当におはすかしいことである。(松阪隆昌)

教区だより

7・8月

15日(水)~16日(木)	別院常例法座	井上英樹師	1時半	8月1日(土)	別院暁天講座	谷川弘顯師	朝7時
15日(水)	広報部会		2時半	別院第一土曜仏教講座	小玉大圓師		1時半
16日(木)	西神第7仮設追悼法要		西神第7仮設	1日(土)~2日(日)	'98全国真宗青年の集い in HONGWANJI	本山	
17日(金)	基推常任委員会		10時半	2日(日)	別院暁天講座	宮里哲秀師	朝7時
21日(火)	連研のための研究会		10時半	3日(月)	別院暁天講座	鹿多証道師	朝7時
25日(土)	ピハラー三教区合同研修会		津村別院	11日(火)~15日(土)	別院お盆参り		
26日(日)	仏仕ブロック別研修会		淡路組萬行寺	15日(土)	孟蘭盆会	高橋廣爾師	1時半
				16日(日)~20日(木)	教務所・別院盆休暇		

敬吊

(五頁から続く)
堀 圓恵師(ほり・えん) けい 掛龍西組明正寺住職 二月六日、八十一歳で往生。葬儀は二月九日、明正寺で。昭和十五年から住職在職五十九年。第一仏光保育園理事長。本願寺派布教使。
佐々木祐昭師(ささき・ゆうしゅう) 神戸中組善照寺住職 三月五日、七十歳で往生。葬儀は三月七日、善照寺で。「法徳院釋昭」。昭和四十五年から住職在職二十九歳。
善藤道良師(よしふじ・どうりょう) 城崎組連成寺住職 三月十日、七十三歳で往生。葬儀は三月十三日、連成寺で。「正覚院釋道良」。昭和三十八年から住職在職三十六歳。
山崎信雄師(やまざき・しんゆう) 神戸中組光徳寺衆徒 三月十四日、八十三歳で往生。「浄泉院釋信雄」。
近藤文郷師(こんどう・ぶんきょう) 佐用組光福寺前住職 三月十八日、七十一歳で往生。葬儀は三月二十日、光福寺で。「大樹院釋文郷」。昭和二十五年から昭和六十年まで住職在職三十六歳。昭和五十二年か
ら昭和五十六年まで教区会議員。昭和五十六年から昭和六十一年まで組長。平成九年から地方選挙管理委員。
萩原講教師(はぎわら・こうきょう) 神戸中組意傳寺住職 三月二十一日、七十九歳で往生。三月二十二日に密葬。四月十四日に本葬を意傳寺で。「慶信院釋弘之」。昭和三十六年から住職在職四十二年。NHK放送局プロデューサー。
宗 雷響師(むね・らいきょう) 姫路南組妙覚寺住職 三月二十六日、九十四歳で往生。葬儀は三月二十八日、妙覚寺で。「正覚院釋雷響」。昭和二十一年から住職在職五十二年。昭和三十七年、本山庶務部警事。
田路龍雄師(とうじ・たつお) 姫路西組徳善寺前住職 四月三日、八十八歳で往生。葬儀は四月六日、徳善寺で。昭和十五年から昭和五十八年まで住職在職四十四年。本願寺派布教使。
藤森教枝さん(ふじもり・のりえ) 水上東組照蓮寺衆徒・前坊守 四月三日、六十七歳で往生。葬儀は四月七日、照蓮寺で。「恭温院釋尼教枝」。
池田郁子さん(いけだ・いくこ) 赤穂南組誓教寺前坊守 四月二十日、九十三歳で往生。葬儀は四月二十九日、誓教寺で。「教徳院釋尼郁香」。
霊岳英雄師(たまおか・ひでお) 神戸中組法西寺衆徒 四月二十九日、八十六歳で往生。葬儀は五月一日、京都市で。「弘誓院釋英雄」。昭和五十三年、西山別院副輪番・教師教修所指導員。名譽知堂。
鳥居寿子さん(とりい・すみこ) 出石組西光寺坊守 五月十二日、七十一歳で往生。葬儀は五月十四日、西光寺で。「釋尼寿子」。
英 實道師(はなぶさ・じつどう) 阪神南組瑛光寺前住職 五月二十五日、八十九歳で往生。葬儀は五月二十七日、瑛光寺で。「浄光院釋實道」。昭和十四年から平成元年まで住職在職五十二年。
上谷すてさん(うえたに・すて) 神戸中組報恩寺前坊守 五月三十一日、八十七歳で往生。葬儀は六月二日、報恩寺で。「報徳院釋尼妙捨」。
直木義泰師(なおき・ぎたい) 掛龍西組円覚寺住職 六月五日、六十四歳で往生。葬儀は六月八日、円覚寺で。「浄泉院釋義泰」。昭和三十五年から住職在職三十九年。
藤猪智雄師(ふじい・ちゆう) 神戸西組本誓寺衆徒 六月二十四日、四十六歳で往生。葬儀は六月二十八日、本誓寺で。「浄西院釋智雄」。
坂本大文師(さかもと・だいぶん) 水上西組教泉寺住職 六月二十八日、四十三歳で往生。葬儀は六月三十日、教泉寺で。「浄泉院釋大文」。平成九年から住職在職二年。
山本勇猛師(やまもと・ゆうもう) 城崎組専念寺前住職 七月五日、九十四歳で往生。葬儀は七月七日、専念寺で。「教善院釋勇猛」。大正十五年から昭和五十五年まで住職在職五十五年。昭和四十年から昭和四十八年まで組長。
宏林教行師(ひろばやし・きょうぎ) 神崎組金剛寺住職 七月六日、八十七歳で往生。葬儀は七月七日、金剛寺で。「常徳院釋教行」。昭和四十七年から住職在職二十七年。本願寺派布教使。

へお詫び

教区新報の発行が途切れ皆様にご迷惑をおかけしましたことお詫びいたします。紙面に関して、ご意見やご希望を広報部までお寄せください。

教区からの団参者数

期	参拜日	団体名	参拝者数
第8期 (後期)	9月19日(土)	多可組	354
	9月21日(月)	岡山南組 第1班A	180
	9月21日(月)	岡山南組 第1班B	230
	9月21日(月)	岡山南組 第1班C	200
	9月22日(火)	赤穂南組 第2班	200
	9月23日(水)	揖龍西組 第2班	40
	9月23日(水)	赤穂北組	500
	9月23日(水)	出石組 第3班	45
	9月24日(木)	網干組 第4班	250
	9月24日(木)	新宮組	300
	9月24日(木)	多紀組	66
	9月25日(金)	姫路東組	500
	9月27日(日)	阪神西組	995
第9期	10月3日(土)	揖龍西組	410
	10月3日(土)	出石組 第2班	40
	10月3日(土)	出石組 第2班B	40
	10月6日(火)	網干組 第5班	250
	10月8日(木)	網干組 第6班	250
	10月8日(木)	多紀組	70
	10月11日(日)	播磨東組	150
	10月11日(日)	揖龍東組	500
	10月12日(月)	朝来組	600
	10月12日(月)	岡山南組 第3班	80
第10期	11月5日(木)	姫路中組 第2班	500
	11月6日(金)	佐用組	320
	11月7日(土)	神姫組 第2班	228
	11月7日(土)	岡山北組	450
	11月8日(日)	阪神南組	300
	11月8日(日)	加古川組	550
	11月11日(水)	加古川組 第2班	45
	11月11日(水)	加古川組 第2班B	100
	11月12日(木)	姫路西組	600
	11月13日(金)	岡山南組 第2班	450

☆本山法要団参部調べ [平成10年6月30日・現在]
 団体数 83団体 参拝者数 22,314名
 前期——団体数(50団体) 参拝者数(12,521名)
 後期——団体数(33団体) 参拝者数(9,793名)
 ※現在教区において前期参拝者数(実数) 確認中です。



蓮如上人法要

期	参拜日	団体名	参拝者数	
第1期 (前期)	3月15日(日)	神明組 第1班	435	
	3月15日(日)	多紀組 第2班	27	
	3月16日(月)	神戸東組	552	
	3月17日(火)	神戸中組	679	
	3月18日(水)	新宮組 第2班	125	
	3月19日(木)	神戸湊組	618	
	3月20日(金)	阪神北組 第1班	83	
	3月20日(金)	神崎組	775	
	3月22日(日)	播磨中組	697	
	3月23日(月)	阪神北組 第2班	298	
	3月23日(月)	神姫組 第1班	225	
	3月24日(火)	穴栗組 第1班	393	
	3月25日(水)	神戸西組	647	
	3月25日(水)	網干組 第1班	185	
	3月25日(水)	出石組	200	
第2期	4月2日(木)	阪神北組 第3班	139	
	4月5日(日)	淡路組 第1班	50	
	4月7日(火)	姫路中組 第1班	272	
第3期	4月22日(水)	淡路組 第2班A	50	
	4月22日(水)	淡路組 第2班B	19	
	4月22日(水)	淡路組 第2班C	93	
	4月22日(水)	淡路組 第2班D	31	
	4月22日(水)	愛生園 真宗同期会	35	
	4月22日(水)	光明園 真宗法話会	30	
	4月24日(金)	網干組 第2班	312	
	4月26日(日)	阪神北組 第4班	229	
	4月26日(日)	水上東組	202	
	4月26日(日)	水上西組	253	
	4月27日(月)	阪神東組 第2班	208	
	4月28日(火)	阪神東組 第2班	593	
	4月28日(火)	神明組 第2班	319	
	第4期	5月8日(金)	網干組 第3班	258
		5月8日(金)	揖龍東組 第2班	27
5月10日(日)		北摂組	449	
5月10日(日)		淡路組 第3班A	90	
5月10日(日)		淡路組 第3班B	50	
5月10日(日)		淡路組 第3班C	50	
5月13日(水)		神戸別院	46	
5月13日(水)		揖龍東組 第3班	40	
5月15日(金)		姫路西組 第2班	94	
第5期		5月22日(金)	養父組 第2班	277
	5月25日(月)	穴栗組 第2班	402	
	5月27日(水)	高砂組 第1班	573	
	5月29日(金)	赤穂南組	165	
	5月30日(土)	城崎組	560	
第6期	6月9日(火)	北摂組 第2班	52	
	6月9日(火)	姫路南組	350	
	6月12日(金)	城崎組 第2班	29	
	6月15日(月)	阪神地区本願寺参拝団	135	
	6月15日(月)	神明組 第3班	100	

全国布教同志会開く

HO日誌

◆6月1日 京阪神都市圏都市開教対策本部会が津村別院で。高橋所長、竹内担当者が出席◆2日 社推協評議員総会を別院で◆3日 近同推総会が本場で◆宗教法人提出書類説明会が揖龍東組主催で清光寺にて黒田担当者が出席◆全国布教同志会(足利孝之会長)主催の布教大会が別院で。四百余名の参詣者が聴聞した◆4日 5日 第九回全国布教大会が本願寺で。教区から三十八名が参加◆4日 龍谷大学十三百線会が別院に団体参拝◆6日 第一土曜日教講座。講師は、紅煤英頭師(本願寺司教・相愛女子短期大学教授)。講題は「真実のすくい」◆7日 スカウトの集いを別院で◆別院仏定例法座。講師は、高崎正英師(神崎組浄光寺)◆8日 差別法名過去帳調査に学ぶ研修会を別院で。講師は麻田香潤中央相談員(新潟教区元上組極楽寺)。対象者は、基推委員、教区相談員、教区専従員、組長

組相談員、基幹運動推進者養成研修会修了者、僧侶研修会講師団、布教団役員、連研中央講師、門徒推進員、教務所長が推薦する推進者等で九十余名の出席があった。特に門徒推進員は十四名が出席した◆門推会報編集委員会を別院で。7月5日の第十期連研修了者大会参加者に向けての会報編集日程で仏婦幹部研修会を開催。講師は、藤井邦彦師(大分教区速見組正善寺)◆蓮如上人五百回遠忌法要に北摂組、姫路南組が団参◆10日 青僧会役員会を別院で◆11日 門徒総代評議員総会を別院で◆教区・別院会計監査を別院で◆12日 管理運営委員会・財務部会を別院で◆蓮如上人五百回遠忌法要に城崎組が団参◆東京教区都留組大正寺より別院に団体参拝◆職員会議を別院で◆13日 14日 蓮如上人五百回遠忌法要・全国保育者の集い in HONJO WANJI が本場で。教区から百九十名が参加◆14日 別院永代経開闢法要◆和歌

了者大会・体験発表者打ち合わせ会を別院で。提言者に藤築行信師(連研中央講師・淡路組宣徳寺)。発表者に池田久子さん(神戸中組徳照寺門徒) 堀江志津代さん(加古川組福正寺門徒)、小西由江さん(神姫組専光寺門徒) が連研を修了し、それぞれの思いを大会で発表◆21日 江並教堂永代経法要に高橋教務所長、安井担当者が出席。講師は、篠崎正光師(岡山南組正善寺)◆22日 保育連盟総会・園長主任研修懇談会を別院で。講師は、高橋廣爾教務所長◆龍谷大学説明会が別院で◆十方会(杉本昭典会長)総会が別院で◆23日 法名・過去帳を考える研修協議会を別院で。講師は、小笠原正仁中央相談員(和歌山教区和歌山北組照福寺)◆23日 27日 青僧会二十周年中国旅行。二十四名が参加◆24日 矯正兵庫支部総会・研修会を別院で。講師は、伊藤友宣先生(神戸心療親子研究室主宰)◆28日 仏子研究室(加古川組)で◆29日 阪神東組覺円寺より別院に団体参拝◆30日 仏婦プロック別研修会が宝福寺(岡山南組)で。

敬 吊

服部 信さん(はっとり。のぶ) 佐用組法覚寺前坊守) 平成九年十二月十四日、八十二歳で往生。葬儀は十二月十三日、法覚寺で。「信徳院釋尼妙芳」。

鷹野 緑さん(たかの。みどり) 神崎組浄空寺衆徒・前坊守) 十二月十五日、七十二歳で往生。葬儀は十二月十八日、浄宗寺で。「浄香院釋尼妙恵」。

河原やよさん(かはら。やよ) 阪神北組源照寺前坊守) 十二月二十日、八十八歳で往生。葬儀は十二月二十二日、源照寺で。「蓮生院釋尼明海」。

菅 清恵さん(すが。きよえ) 網干組聖安寺前坊守) 十二月二十六日、八十九歳で往生。葬儀は十二月二十九日、聖安寺で。「唯祥院釋尼清恵」。

中杉ゆき子さん(なかし。ゆきこ) 神姫組浄光寺前坊守) 平成十年一月九日、八十四歳で往生。葬儀は一月十一日、正光寺で。「一乘院釋尼妙珠」。

小国一雄師(おぐに。かずお) 赤穂南組玉専寺衆徒) 一月二十一日、八十六歳で往生。葬儀は一月二十三日、

宝専寺で。「宝証院釋智成」 徳本義淳師(とくもと。ぎじゅん) 高砂組延寿寺前住職) 一月二十四日、八十六歳で往生。葬儀は一月二十六日、延寿寺で。「浄徳院釋義淳」 昭和十八年から平成七年まで住職在職五十二年。

板倉松尾さん(いたくら。まつお) 穴栗組止源寺衆徒・前々坊守) 一月二十六日、八十八歳で往生。葬儀は一月二十九日、正源寺で。「香華院釋慧心」。

丸岡ひさこさん(まるおか。ひさこ) 播磨東組正念寺衆徒・前坊守) 一月二十七日、八十八歳で往生。葬儀は一月二十九日、正念寺で。「頭勝院釋尼久子」。

巖 房野さん(いわお。ふさ) 淡路組円徳寺前坊守) 一月三十日、九十六歳で往生。葬儀は一月三十一日、円徳寺で。「顕好院釋尼貞幸」。

柳川つる子さん(やながわ。つるこ) 北摂組願生寺前坊守) 二月四日、七十七歳で往生。葬儀は二月六日、願生寺で。「喜願院釋尼浄鶴」。

平成10年度 兵庫教区一般会計歳計予算

(単位：円)

[歳入]

款 項 目	平成10年度	平成9年度	対比(△減)
賦課金	58,767,000	47,890,000	10,877,000
宗派交付金	16,090,000	29,990,000	△13,900,000
各種助成金	6,770,000	6,770,000	0
地方事務費	9,320,000	9,220,000	100,000
(蓮如上人関係)	0	14,000,000	△14,000,000
願記冥加金	4,000,000	4,000,000	0
願繰入金	50,000	10,050,000	△10,000,000
雑借入金	3,530,000	1,750,000	1,780,000
繰越入金	2,000,000	2,000,000	0
繰越見込	6,000,000	7,000,000	△1,000,000
歳入合計	90,437,000	102,680,000	△12,243,000

[歳出]

款 項 目	平成10年度	平成9年度	対比(△減)
教化事業費	25,020,000	36,340,000	△11,320,000
基幹運動推進費	24,770,000	23,220,000	1,550,000
教区推進委員会費	3,950,000	2,900,000	1,050,000
同朋運動推進費	3,910,000	3,910,000	0
研修費	180,000	180,000	0
連続研修費	5,700,000	5,100,000	600,000
組織教化費	2,150,000	2,250,000	△100,000
布教対策費	300,000	300,000	0
文書伝道費	2,500,000	2,500,000	0
教材費	100,000	100,000	0
福祉推進費	400,000	400,000	0
社会教化費	1,160,000	1,160,000	0
都市開教費	1,300,000	1,300,000	0
教区相談員事務費	3,120,000	3,120,000	0
基本計画推進費	250,000	13,120,000	△12,870,000
(蓮如上人関係)	0	13,120,000	△13,120,000
組巡回費	250,000	0	250,000
教化助成費	2,940,000	2,390,000	550,000
会議費	3,000,000	3,250,000	△250,000
選挙費	50,000	1,200,000	△1,150,000
教務所費	58,160,000	56,210,000	△1,950,000
職員所費	51,460,000	51,460,000	0
事務所費	5,900,000	6,150,000	△250,000
通信印刷費	3,000,000	3,000,000	0
消耗品費	700,000	700,000	0
図書費	200,000	200,000	0
出張費	50,000	50,000	0
出張外	700,000	700,000	0
出張外	300,000	400,000	△100,000
渉外	400,000	500,000	△100,000
諸	550,000	600,000	△50,000
維持管理費	800,000	600,000	200,000
災害対策費	100,000	100,000	0
直属寺院関係	230,000	230,000	0
予備費	937,000	960,000	△23,000
歳出合計	90,437,000	102,680,000	△12,243,000

予算は千二百万円減

基幹運動など重点配分

平成九年度(通算第一) 賦課金を財源としており、(一回)定期教区会が三月二日(阪神・淡路大震災被災寺院十六日別院にて開催され、平成十年度兵庫教区一般会計歳計予算案を含む八議案が慎重審議された。

議案上程に先立ち、高橋教務所長から所信表明があり、本年度予算について、教区会計歳入の大半は教区

りましてが、繰越金の減収、センター会計からの繰入金についても本山への借入金

の本年度分返済もあり、また別院も震災による収入減等、補填の継続が困難になり、関係機関の慎重なるご検討をいただき、阪神・淡路大震災教区災害対策委員会、常備会の議を経て、被

災寺院にも教区運営事情をご推察いただき、九年度一〇〇%減免の被災寺院二一八カ寺については五〇%納入をお願いし、九年度五〇%減免の被災寺院九カ寺については全額納入をお願いした。

また、予算編成については、平成十年度教区一般会計歳計予算総額は、九千四百三十七万七千円(前年度対比一〇・二%減)。歳出では基本計画推進費(蓮如上人関係費)が費目削除となり、新たに組巡回費を費目新設した他

は、ほぼ前年度を踏襲した予算となっている。質疑では、宗務所職員と教区・別院職員の給与、地方の教区賦課金算出について宗費との割合がどのようになっているか等が質問された。

同意議案は、第十八選挙区地方選挙管理委員会委員近藤文郷氏死亡に伴い、予備委員より北村廓隆氏(加古川組・善照寺)を任命。常備会員及び予備委員選出については、前年度と同一議員を選出した。

過去帳調査 教区766寺が提出

今後、教区・組で研修会を

はじめに

一九九七年度に行われた「差別法名・過去帳調査」の結果を報告する前に、その実施目的を説明すると、今回の調査は、一九八三年の前調査の不備な点を克服し「信心の社会性」の具体的な取り組みの推進を図るため、教団全体の取り組みとして実施しました。

全体の回収率は九九パーセントを超え残りの寺院に対しては調査に対し協力を求めているところです。

兵庫教区では、七七九寺院中七六六寺院（九八・三パーセント）の調査表の提出がありましたことは、組長をはじめ多くの方の運動への協力があつたからであります。

各組開催の事前研修会参加は、七七九寺院中六〇七人の住職（七七・九％）が、主旨を理解した上でこの度の再調査に臨みました。報告内容については、四

九ヶ寺より過去帳に差別記載があると報告していただき調査に取り組まれた各住職の真摯な姿勢が窺われました。

兵庫教区主催の事前学習会は、九七年六月六日と三十日の二回と、同年九月には、組長副組長組相談員の一泊研修会において調査実施の中間協議会を一回開催しました。

「お寺の過去帳の本来のあり方とは」また「浄土真宗の法名のあり方とは」

「院号、特に軍人に授与された軍人院号とは」などの問題提起がなされました。宗派の法名は釋の後の二文字法名ですが、四字五字法名・位号、置き字が二七七カ寺の過去帳に記載されています。

法名の歴史の中には「百姓の法名に院号、居士号、大姉号などをつけることを禁止する」という江戸幕府から法度が出されたことなどを考えると、差別的な法

名を生み出す体質があつたことに大きな反省がなされます。

今後の対応について 前回の調査で、差別事象を報告しなかったことが問われてくるが、まずご門徒に懺悔し、どうしていくかを検討しながら、今回の課題を乗り越えていくことが大切です。また報告に取り組んだ寺院だけの問題にせず、全寺院全住職の問題として取り組み、表面上の記載だけに止まらず、記載されないところの差別意識を問わなければならないのではないかと。

今年度の取り組み

今年度に入り兵庫教区では、差別法名過去帳調査（以下調査）の結果を受けて六月八日に「調査に学ぶ研修会」を実施しました。参加状況は約九〇名であり、門徒推進員の出席もあって、この問題を僧俗共に考えていこうとする第一歩となりました。



テキスト

「調査に学ぶ研修会」では「今回の問題を僧侶と門徒が共に研修できることは、大切であり今後どうであったか」「過去帳の全面書き換えに時間がかかって運動推進の上からも取り組んで行きたい。」などの意見が多く出されました。今後、組開催の「調査に学ぶ研修会」で具体的な事実から僧侶の体質を問い、その意識を支えてきた教団の意識の問題をも説き明かしていく深まりのある取り組みを期待したいものです。六月一七日には、全住職対象の基幹運動特別研修会を開催し、部落史研究家の

白井壽光先生より、関西を中心に「江戸時代の被差別民と真宗との邂逅」をテーマに、ご講義をいただきました。一階ホール会場は満席となり意義がありました。続いて六月二日は、二回目の「法名・過去帳を考える研修協議会」を組研修会に先駆けて開催しました。そこでも過去帳の差別問題や教団教学の問題に蓋をしてしまうような最終の仕方をしてはいけないという意見が出されました。自己申告をしたご住職にとつて過去帳の事実を真摯に受け止めた結果の意見であると感じていただきました。そうした意見を教区全体の問題として、どう共有化し共通認識をしていけるかが教区基推委の重要課題です。参加した住職は、自ら差別記載の事実を報告し、「ご門徒と相談をもし、歴史的な理由の調査と学びを深めていきたい」と推進者の名告りをされました。現前の事実に向かった時私と教団の差別体質が問われ、「御同朋の社会の実現」に動き出す僧侶となることから「信心の社会性」を明らかにしていく営みであります。

（近藤龍樹教区相談員）

千鳥ヶ淵法要にご参拝を

今年で十八回目を迎える宗門主催の全戦没者追悼法要が、九月十八日（金）に東京都千代田区の国立・千鳥ヶ淵戦没者墓苑で豊原大成総長の導師で営まれる。今年度から、法要に先立ち、同所にて「つどい」が午後零時四十五分から行われ、久堀弘義師（神戸湊組行願寺）の記念布教、仏教讃歌斉唱、献華。続いて午後一時三十分から「法要」が全国教務所長の結衆で勤修される。どうぞ有縁の皆様方の参拝をお願いします。